

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		スマイル		公表日		年 月 日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		6	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		4	2		△職員の体調不良や急早退があると、安全であると断言できる環境ではなくなる時がある。職員の配置数は適切であるのか再度確認を行うべきだと思う。 △日によっては職員が足りないと思う時がある。 △現状はギリギリの体制で、建物内に誰もいない時や、一人で多くの利用定員を見守る時間がある。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		6		○視覚的情報を各所に取り入れ、生徒たちが自分の目で見て情報を確認する環境が作られている。	△身体障がい児童の受け入れは行っていない為、バリアフリー化にはしていない。 △バリアフリー化はされているとはいえない。△文字が中心となっており、低学年の子には伝わりにくい部分がある。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		5	1		△床マットの隙間にゴミが溜まりやすい為、清掃しやすい素材のマットへ変更したい。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		5	1		△他の子の刺激にならないよう、本人が安心できるようにする。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		4	2	○主だって説明は行っていないが、生徒に関するトラブルがあった際には、PDCAサイクルに基づいて支援を行っている。	△広く職員が参画しているとは言えない。 △実際にどうなのかはわからない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		4	2	○保護者向け評価表の集計・HPに掲示し、業務改善の意識向上を図っている。	△実際にどうなのかはわからない。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		6		○必要に応じて面談を実施したり、日頃から会話をする機会を多く設け、職員が意見を出しやすい環境を作っている。また、柔軟に受け入れ、反映する機会を積極的に設けている（全員でスマイルを創り上げるという意識のもと）。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		2	4		△情報が無いためわからない。×2
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		5	1	○パートも参加できるような機会が確保されている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		6			△作成はしているが、わかりやすい掲示にまで至っていない。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		4	2		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		5	1		△計画書を作成するにあたり共有することを取り入れるが、作成者自身の文面になりがちである。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		5	1		△十分にサービス計画が共有されているとは言えない。職員によっては、保護者から確認を受けても対応できない者もいるため、全体で再度共有するべきであると思う。△いつでも誰でも支援内容の要点を確認できる仕組みを整えたい。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		3	3		△言葉で伝わりにくい支援や注意点を画像や動画で即座に共有できる対応を整え、スタッフ間でのバラツキをなくしたい。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	3	○立案担当（複数名）があり、担当が中心となって活動プログラムを立案・全員に共有している。	△もう少し全体で考えることができれば、負担が偏らないのではないかと考える。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1		△毎日できているとは言えない。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3	○当日中の打合せは難しいが、翌日打合せや振り返りを行い、次に活かす話し合いを行っている。	△翌朝、朝礼にて行われているが、その場にはいないスタッフや次の日休みの職員からの振り返りや共有が出来ていない時がある為、朝礼に限らず共有できる場があっても良いと考える。 △帰りの送迎も含まれるため、支援後に行う時間を確保するのは厳しい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5	1	○地域交流の機会は積極的に設けられていないが、他基本活動に関しては取り入れ実施している。	△今後は地域交流（地域のイベントに参加したり、公園へ外出したり）も積極的に取り入れていきたい。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	6		○予め決められた活動にとらわれず、子どもの意思に合わせた支援となるよう工夫している。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	2		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		○学校によってではあるが、連絡が取りあえる関係性を築いている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3		△実際にどうなのかはわからない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	5		△実際にどうなのかはわからない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	5		△実際にどうなのかはわからない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		△放課後児童クラブや児童館との交流機会はない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4		△情報がなくわからない。 △全体として参加しているわけではないのでわからない。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	2			

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5		△実際にどうなのかはわからない。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	3		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	2	○契約の際の保護者様との面談時、子どもへの想いの聞き取り・意向などの聞き取りを行っている（書面でも提出をお願いしている）。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	2	○契約の際の保護者様との面談時（または、事前の見学の際に）、支援内容の説明や活動内容を説明している（書面でもお渡ししている）。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	2		△実際にどうなのかはわからない。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	3	○3か月に1回のペースで保護者会を開催、参加希望の保護者様向けにはなっていますが、交流の機会を設けている。	△実際にどうなのかはわからない。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	3		△実際にどうなのかはわからない。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	○11月に開催する法人イベントをした際には、地域へポストインし周知を図った。	△実際にどうなのかはわからない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	5		△マニュアルはあるものの、職員への周知は十分にはなされていない（今後、法人全体研修の際にマニュアル研修を設けていく予定）。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	3	○訓練に関しては、季節によって想定される避難訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3	3	○個人情報は各生徒のファイルをいつでも確認できるよう保管しており、そこで確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		○職員間で子どもたちのアレルギー共有を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	3		△作成されているものの、スタッフ全員への周知はなされていないため、周知を図るための工夫を今後していきたい。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	4		△家族等へ周知されているかは、不明。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2	4		△保護者への説明・運営規定への記載はなされているものの、放課後等デイサービス計画への記載はされていない。	